

宇部市成長産業推進協議会 設立趣意書

本市は、「共存同栄・協同一致」の精神のもと、先人達が石炭産業の恩恵を活かし、新たな産業として創出した化学産業を基盤に全国有数の産業集積都市として発展してきました。

このような中、近年では、生産年齢人口の減少などの構造的な課題に加えて、グローバル経済の進展や、いわゆる第四次産業革命、そして新型コロナウイルス感染症の拡大による社会経済の大きな変化に直面して、企業の経営環境は今まで以上に不確実性が増しています。

そのような中、本市の大多数を占める中小企業ではICT化やデジタル化などの新技術の活用が遅れていることが課題となっており、一方でその活用により、更なる発展の可能性が見込まれています。

これらの状況を鑑み、本市の未来を豊かにする産業力の強化に向けてこれまで通り、地域経済と地元産業の発展を図っていくとともに、魅力的な雇用の場を確保する新たな次世代産業を創出し、次の世代への礎を築くことは、私たちの使命と考えています。

次代を担う産業を宇部市で創出し、育成していくことは、本市の持続的発展のためには欠かせません。地方創生における「まち・ひと・しごと」の「しごと」を創出し、「ひと」を集め、「まち」を活性化させる良いサイクルを回して行くことが必須であり、時間を要しますが、「産・学・公・金」の英知を結集することにより、その「しごと」を生むための産業力の強化を成し遂げることができると考えています。

そのようなことから、本市が保有する産業集積や大学等の高等教育機関、試験研究機関の立地など有利な地域特性を活かし、先人の方々が培われてきた今ある産業の恩恵の下で宇部市や山口県の未来を豊かにする強い成長産業の創出と人材育成を目的として、ここに「宇部市成長産業推進協議会」を設立するものであります。

令和3年4月1日

宇部市長 篠崎 圭二